褥瘡推定発生率

当院入院中に発生した患者さんの褥瘡（床ずれ）推定発生率です。

令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月
0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

※全国一般病院 平均値
1.20%

定義

算出期間：令和5年4月から令和6年3月

（調査日に褥瘡を保有する患者数－入院時すでに褥瘡を保有していた患者数）／調査日の当院入院患者数×100（%）

注1　調査日の施設入院患者数：調査日に入院または入院予定者は含めない。
　　調査日に退院または退院予定者は含める。

注2　1名患者が褥瘡を複数部位有していても、患者数は1名として数える。

注3　入院時すでに褥瘡を保有していていた患者であっても、新たに入院中に褥瘡が発生した場合は、
　　院内褥瘡発生者として取り扱い、褥瘡推定発生率を算出する。

※表中の「全国一般病院平均値」は、日本褥瘡学会「第4回（平成28年度）日本褥瘡学会実態調査委員会報告1」」より引用しています。